

林業のコスト縮減に向けて

～低コスト化作業の普及～

網走南部森林管理署

【現状・課題】

オホーツク管内における素材生産量は北海道全体の2割以上を占めているが、林業事業者の伐採・搬出のコスト縮減や造林の低コスト化への取り組みなど効率的作業の普及・定着はあまり図られていない状況。

主伐再造林が増加することが見込まれる中、低コスト化に対する意識の醸成や効率的な作業の普及・推進を図ることが課題。



今後の取り組みで 目指すところ

○伐採・造林一貫作業システムの取組について現地検討会での意見等把握した結果を踏まえ、低コスト化の定着を目指す。

○把握した生産工程の分析により、改善点や地域における効率的な作業仕組を検討する。

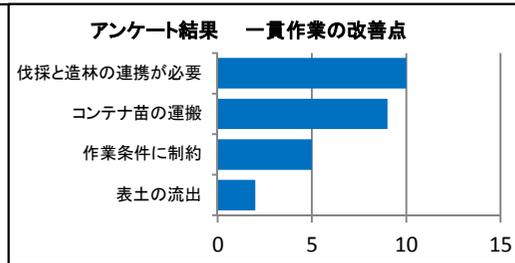
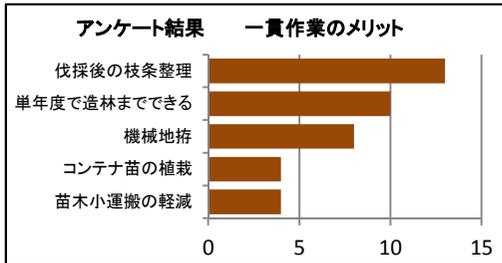
○工程管理システムのデータ収集に引き続き取組み、改善された事例を地域に広げ、さらなる生産性向上を図る。

【平成29年度の取組結果・成果】

①現地検討会の開催

○伐採・造林一貫作業システムの理解を深めるため、民有林関係者や林業事業者等32名が参加し、伐採・地拵終了後のコンテナ苗植付実施現場において現地検討会を開催した。

関係者との意見交換やアンケート等を通じ、一貫作業システムのメリット・改善点等の把握を行った。



○民有林関係者に対して一貫作業システムの作業仕組や作業の効率化に向けた国有林での取組の普及を図ることができた。

○アンケート調査で課題や改善点などを把握した結果を踏まえ、今後、当署での一貫作業システムの低コスト化に向けて検討を進めていく。

②工程管理システムの普及推進

○林業事業者に対して、生産工程の把握・分析を行うため工程管理システムの操作方法等を説明し、データ収集を依頼した。

民有林での皆伐作業の工程把握を行った結果、システムで全体の作業工程を確認することができた。その中で低い作業工程があったことから、結果を踏まえて今後の生産性の向上を図るため、実行結果等のフィードバックを行い工程管理システムの活用を推進した。



○工程管理システムにより実際に作業工程を把握することができた。

○工程管理システムの結果を基に作業工程の改善点等を説明し、現状の作業工程の認識を深めてもらうことができた。

【今後の目標】

地域における 林業のトータルコスト縮減